



2026年6月24日

各位

会社名 東京汽船株式会社  
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 齊藤 宏之  
 (コード番号: 9193 東証スタンダード市場)  
 問合せ先 取締役 専務執行役員 佐藤 晃司  
 (TEL 045-671-7713)

**2027年3月期 業績予想及び配当予想に関するお知らせ**

当社は、2026年5月15日公表の「2026年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました業績予想及び配当予想を下記のとおりといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 連結業績

2027年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想数値の修正(2026年4月1日~2026年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	6,304	△314	△175	△11	△1.18
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2026年3月期第2四半期)	6,812	37	184	31	3.16

2027年3月期通期連結業績予想数値の修正(2026年4月1日~2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	12,535	△413	△155	37	3.81
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2026年3月期)	13,144	106	347	5,046	507.08

## (2) 個別業績

2027年3月期第2四半期(中間期)個別業績予想数値の修正(2026年4月1日~2026年9月30日)

	売上高	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	4,394	3,005	3,232	324.78
増減額(B-A)	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2026年3月期第2四半期)	4,919	215	438	44.03

2027年3月期通期個別業績予想数値の修正(2026年4月1日~2027年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	8,817	2,981	3,234	325.03
増減額(B-A)	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2026年3月期)	9,493	268	742	74.61

### 2. 修正の理由

2027年3月期の連結業績予想につきましては、米国・イスラエルとイランの軍事衝突により事実上ホルムズ海峡が封鎖され、主力の曳船事業における作業対象船舶に与える影響を、合理的な前提において判断することは困難な状況であったことから未定としておりました。

依然として米国とイランとの戦争終結は最終合意には至っておりませんが、曳船作業対象船舶に与える影響について、足元の業況や現時点で入手可能な情報・予測等に基づき、業績予想を算定いたしました。

主力の曳船事業では、作業対象船舶である中東からの原油タンカー等の危険物積載船の東京湾への入湾数はゼロとなっており、自動車専用船やバルカー船の荷動きは低調となっております。

海事関連事業では、前期は北九州ひびき灘での建設作業向け洋上風力発電交通船(CTV)で多数の運航がありましたが、当期は富山県入善港と北九州ひびき灘でのO&M(保守・維持管理)作業のみとなり、約5億円の減収を想定しております。

費用面では、原油価格は高止まりで推移するとの前提で、当社連結グループ全体で燃料費

は前期に比べ約3億円（20%程度）の増加を予想しております。

個別業績予想につきましては、連結業績予想と同様の理由による売上高への影響があるものの、連結子会社である東京湾フェリー株式会社からの受取配当金35億円の計上により経常利益及び当期純利益は前期に比べいずれも大幅な増加を予想しております。

### 3. 配当予想について

2027年3月期の配当予想につきましては、業績予想と同様に未定としておりましたが、業績予想を公表したことに伴い、下記のように配当予想をいたします。

当社の配当方針は、当社が配当財源として重視しております個別業績に応じ、かつ継続可能な配当を年1回実施していくことを基本方針としております。

2027年3月の個別業績予想では、2026年5月14日に公表した「連結子会社からの配当金受領に関するお知らせ」のとおり、東京湾フェリー株式会社からの配当金35億円（2026年6月24日受領）を個別決算において営業外収益に計上することになりました。

また、当社は2027年5月5日をもちまして創立80周年を迎えますので、株主の皆様のご支援に感謝の意を表すため、普通配当20円に記念配当10円を加え、期末配当予想を1株当たり30円とさせていただきます。

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今 回 修 正 予 想	—	30.00 (普通配当 20.00) (記念配当 10.00)	30.00 (普通配当 20.00) (記念配当 10.00)
当 期 実 績			
前 期 実 績 (2026年3月期)	—	50.00 (普通配当 20.00) (特別配当 30.00)	50.00 (普通配当 20.00) (特別配当 30.00)

(注) 本資料における上記の予想を含む記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上